

2019年7月9日 第282号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター「9の日」宣伝

選挙に行こう！主権者は私たち 政治を変えてくらしを変えよう！

憲法共同センターは7月9日昼、定例の「9の日」宣伝を新宿駅西口で行い、8団体 20 人が参加。参議院選挙の真ただ中、「選挙に行こう 主権者は私たち—政治を変えてくらしを変えよう」とのチラシ入りのティッシュを配り、3000 万人署名への協力を訴えました。署名には、25 人の方から協力いただきました。

6人の弁士が訴え。憲法会議の高橋信一事務局長は「政府は専守防衛を投げ捨て、アメリカと一緒に戦争する国へとまい進している。仕上げは憲法9条の改悪だ。9条改憲を止めるには、参議院選挙が重要。共同の力、平和を願う力で改憲勢力を3分の2以下に追い込もう。安倍首相を退陣へと追い込もう」と呼びかけました。

全商連の星実副会長は、金融庁報告書の老後の資金 2000 万円不足問題や消費税の10%への増税問題について批判。「憲法改正ではなく、人間らしい、健康で文化的な生活、憲法25条を実現することが重要。平和でこそ商売繁盛。憲法を守らない政治を変えよう」と訴えました。

全労連の小田川義和議長は「今度の参議院選挙は、憲法に自衛隊を書き込み、戦争する国、軍隊を持つ国の歯止めになっている憲法9条を書き換えるのか、それとも紛争解決の手段としての戦争を放棄し、戦力、軍隊を持たない憲法9条を守りぬくのかが問われている」と指摘。「憲法をくらしに生かす政治を願っているみなさんはぜひ投票所に足を運び、その思い、減る年金への怒りを投票で表してほしい」と訴えました。

全日本民医連の木下興事務局次長は「安倍政権は、社会保障費の大削減を掲げ、公的医療・介護制度の解体とも言える大改悪を行ってきた。これでは格差と貧困がいつそう広がり、まさに金の切れ目が、いのちの切れ目、そんな事態がますます広がることになる。平和があってこそ医療、介護、福祉は成り立つ。憲法を守り生かす3000万人署名にご協力を」と呼びかけました。

民青同盟の中山歩美副委員長は「北朝鮮問題は、対話での平和的解決が前進しているが、安倍首相は9条を改憲しようとし、平和の歩みのじゃまをしている。憲法を生かす平和外交にすることが重要。参議院選挙では、憲法を守り生かす人を選んでほしい。若者が希望を持てる社会にしよう」と呼びかけました。

全労連の長尾ゆり副議長は「自民党は公約に憲法改正の早期実現をかかげ、改憲議論をする政党か議論しない政党かを選ぶ選挙だと言っている。国民は憲法改正など望んでいない。世論調査では社会保障の拡充を望んでおり、憲法25条を生かすことが求められている」と指摘。「安倍首相は9条改憲にやっきになっている。災害救助で人助けをしたいと思い自衛隊に入った人に、シャベルでなく人を撃つ銃を持たせていいのか。今度の選挙は戦争したがる人ではない人を選ぼう。安倍改憲NO!主権者は私たち。政治を変え、くらしを変えよう」と呼びかけました。

